

# 一般質問



## 園部駅東口広場の整備と園部停車場線の通学路の道路整備を

活躍クラブ  
矢野 康弘 議員

府へ道路整備の要望をする

市長



## 安全安心な教育環境を

南風会  
村田 憲一 議員

今後も安全確保に努める

市長

問 J.R.嵯峨野線(京都園部間)の複線電化が、平成22年春に完成する。陳情活動を始めてから41年もかかった。平成2年3月に電化が完成した時には園部駅舎を橋上化し、自由通路をつくり西口広場が完成し、西の玄関口となつた。一方、東口は未改修で18年も経過する、向河原の市営や府営住宅が建ち、更に小山住宅団地ができる。園部第二小学校へ現在、向河原団地から46人の児童が通

問 複線電化に総額で、JR嵯峨野線(京都園部間)の複線電化が、平成22年春に完成する。陳情活動を始めてから41年もかかった。平成2年3月に電化が完成した時には園部駅舎を橋上化し、自由通路をつくり西口広場が完成し、西の玄関口となつた。一方、東口は未改修で18年も経過する、向河原の市営や府営住宅が建ち、更に小山住宅団地ができる。園部第二小学校へ現在、向河原団地から46人の児童が通

問 安全・安心な教育環境について伺う。通学・通園途中での事故や事件についてであるが、当市では、問題事象は起きていません。それらを未然に防ぐため、学校施設を内や通学・通園途中での事故・事件については大きな事象は起きていません。しかし、警備員の配置の考え方ではないか伺う。

市長 現在のところ施設内や通学・通園途中での事故・事件については大きな事象は起きていません。ただし、警備員の配置の考え方ではないか伺う。

問 複線電化に総額で、JR嵯峨野線(京都園部間)の複線電化が、平成22年春に完成する。陳情活動を始めてから41年もかかった。平成2年3月に電化が完成した時には園部駅舎を橋上化し、自由通路をつくり西口広場が完成し、西の玄関口となつた。一方、東口は未改修で18年も経過する、向河原の市営や府営住宅が建ち、更に小山住宅団地ができる。園部第二小学校へ現在、向河原団地から46人の児童が通

問 安全・安心な教育環境について伺う。通学・通園途中での事故や事件についてであるが、当市では、問題事象は起きていません。それらを未然に防ぐため、学校施設を内や通学・通園途中での事故・事件については大きな事象は起きていません。ただし、警備員の配置の考え方ではないか伺う。

市長 現在のところ施設内や通学・通園途中での事故・事件については大きな事象は起きていません。ただし、警備員の配置の考え方ではないか伺う。

問 複線電化に総額で、JR嵯峨野線(京都園部間)の複線電化が、平成22年春に完成する。陳情活動を始めてから41年もかかった。平成2年3月に電化が完成した時には園部駅舎を橋上化し、自由通路をつくり西口広場が完成し、西の玄関口となつた。一方、東口は未改修で18年も経過する、向河原の市営や府営住宅が建ち、更に小山住宅団地ができる。園部第二小学校へ現在、向河原団地から46人の児童が通

# 佐々木市長にまちづくりを問う 一般質問

3月定例会では、12人の議員が一般質問を行いました。各議員の質問と理事者の答弁の概要は次のとおりです。(質問順に掲載)



日本共産・住民協働市会議員団  
高野 美好 議員

## 食の自給率の向上と地産地消の促進を!



丹政クラブ  
外田 誠 議員

## 大雪に対応できる要綱の整備を

市長

高齢世帯に限り雪下ろし補助金を

問 安全・安心な教育環境について伺う。通学・通園途中での事故や事件についてであるが、当市では、問題事象は起きていません。それらを未然に防ぐため、学校施設を内や通学・通園途中での事故・事件については大きな事象は起きていません。ただし、警備員の配置の考え方ではないか伺う。

問 安全・安心な教育環境について伺う。通学・通園途中での事故や事件についてであるが、当市では、問題事象は起きていません。それらを未然に防ぐため、学校施設を内や通学・通園途中での事故・事件については大きな事象は起きていません。ただし、警備員の配置の考え方ではないか伺う。

問 食料自給は世界的な構造変化がおきている。温暖化による異常気象、穀物需要の増大、食料輸入国の増加などにより、食料の争奪戦が始まっている。一方、我が国の食料自給率は39%にまで低下し、農村の経済はひん死の状態である。地方から農政の転換の声をあげるべきと考えるがどうか。

市長 自給率39%は大変恐ろしい数字である。担当手育成等の施策を行

問 「ストップ温暖化」において、北桑田高校の取組が日本一となつた。温暖化防止と地元産材利用に貢献すると考えられるがどうか。

市長 最優秀賞を獲得

問 中國産ギョウザ事件が学校給食に影響を与えていた。食の安全や食育の観点から、地元産食材の利用をす

問 試験の結果がよく、操業再開となる前に協定書や細目書を見直し、二度と繰り返す事のないよう心を引き締める必要がある。協定書や

市長 地元・衛管・市・府と一緒になって、三者協定に基づき対応していく。

問 地元・衛管・市・府と一緒になって、三者協定に基づき対応していく。

市長 不測の事象が発生する。今のままの乗客では投資効果が問われる。市の人口が減少傾向にある。中で、一層の乗客増加対策が必要になる。住宅開発や工場誘致、観光開発なども必要である。また、複線化になると大変便利になるため、自動車の通勤者が駅周辺に駐車し、電車に乗り替える者も増える。こうなると現在の民営の駐車場では不足す

問 食料自給は世界的な構造変化がおきている。温暖化による異常気象、穀物需要の増大、食料輸入国の増加などにより、食料の争奪戦が始まっている。一方、我が国の食料自給率は39%にまで低下し、農村の経済はひん死の状態である。地方から農政の転換の声をあげるべきと考えるがどうか。

市長 自給率39%は大変恐ろしい数字である。担当手育成等の施策を行

問 「ストップ温暖化」において、北桑田高校の取組が日本一となつた。温暖化防止と地元産材利用に貢献すると考えられるがどうか。

市長 最優秀賞を獲得

問 中國産ギョウザ事件が学校給食に影響を与えていた。食の安全や食育の観点から、地元産食材の利用をす

問 試験の結果がよく、操業再開となる前に協定書や細目書を見直し、二度と繰り返す事のないよう心を引き締める必要がある。協定書や

市長 地元・衛管・市・府と一緒になって、三者協定に基づき対応していく。

問 地元・衛管・市・府と一緒になって、三者協定に基づき対応していく。

市長 不測の事象が発生する。今のままの乗客では投資効果が問われる。市の人口が減少傾向にある。中で、一層の乗客増加対策が必要になる。住宅開発や工場誘致、観光開発なども必要である。また、複線化になると大変便利になるため、自動車の通勤者が駅周辺に駐車し、電車に乗り替える者も増える。こうなると現在の民営の駐車場では不足す